

2023年10月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

東京計器株式会社に「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、東京計器株式会社（代表取締役 社長執行役員：安藤 毅）に対し、「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の東京計器株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「顧客に対する誠実さ」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。

企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGsへの貢献意欲をお持ちであるとの判断となりました。

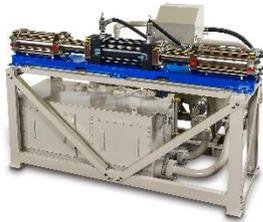
ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が進んでいるとされました。

- ① 気候変動への対応に向けて、Scope1、2を対象としたGHG排出量の削減目標を掲げ、省エネ設備への更新や生産工程の改善などエネルギー使用効率化に取り組んでおられる。また、製品の提供を通じた環境課題の解決として、水素ステーション関連製品の開発や、船舶運航時の省エネに資する航海計器、河川の氾濫を監視する水位計などの提供を進めておられる点。
- ② カンパニー毎に品質方針を策定し、ISO9001やJISQ9100等の品質マネジメント認証を取得。「問題解決型の品質保証」を徹底し、顧客満足の向上に努めておられる点。
- ③ サステナビリティ推進体制としてサステナビリティ委員会とサステナビリティ推進室を新設し、サステナビリティ経営に係る諸施策を審議・決定している。これまでにサステナビリティ方針を策定し、マテリアリティとして「社会課題を解決する商品の提供」「環境配慮型社会の実現」「サプライチェーンマネジメントの強化」「多様な人材の活躍推進」を特定したうえで、取り組みを進めている点。

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7： エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標8： 働きがいも経済成長も」「目標13： 気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお

持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs 推進分析融資」により、お客さまの ESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。



水素圧縮装置



船舶用オートパイロット



河川監視用水位計

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上